

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・校内研究では、一人一台の学習者用端末を活用しながら、かつ算数科の授業づくりを中心とし、全員が授業を行い、授業を見合うことで、授業力向上を図ってきた。これからも、感染対策を講じながら、児童の学力向上につながる取組を行っていく。</p> <p>・日々、新型コロナウイルスの感染対策をとりながら、児童が楽しく学校生活を送ることが出来るように、安心・安全な環境作りに努めてきた。学校における感染の広がりはなく、3学期終わりまで主な行事等を無事終えることが出来た。来年度も今年度同様の感染対策を行いながら、安心・安全な学校環境作りに取り組んでいきたい。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	心豊かに、創造性を発揮し、たくましく生きる子どもの育成
----------	-----------------------------

3 本年度の重点目標	<p>①一人一台の学習者用端末の学校内外での活用推進を図る。</p> <p>②算数科の校内研究を中心とした授業力向上に努め、児童の学力向上を図る。</p> <p>③新型コロナウイルスや自然災害等から身を守るための指導を行い、健康で安心・安全な学校・家庭生活を推進する。</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標 (数値目標)							
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・全職員で学力向上対策シートのマイプランを共有し、授業改善に取り組む。 ・学期ごとにマイプランの振り返りを行う。						
	○校内研究の充実	○(学校独自成果指標・任意) 自分の考えを相手に分かりやすく説明することができるという質問に対して、肯定的な回答をする児童の割合80%以上	・児童が自分の考えをもち、それを相手意識をもって工夫して表現ができるよう、手立てをとりながら授業を行う。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童・保護者が80%以上	・ふれあい道徳を実施し、全学級で授業を公開する。 ・授業後、ワークシートに振り返りや感想を書かせ、学級通信等で保護者に知らせる。						
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員が80%以上 ○いじめ等の対応や指導を適切に行っていると答える保護者が80%以上	・毎月「心のカード」を実施する。 ・人権集会(教室)を計画的に実施する。 ・学級経営案に沿って、学期ごとにPDCAを行う。 ・気になる児童については、毎週水曜日の職員連絡会で共通理解し、対応策について協議する。						
	◎児童が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとする教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童が80%以上	・自分の目標や将来の夢について考える機会を授業の中に設定する。 ・地域の方や様々な専門家のお話を聞く機会を設ける。						
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○各学年の目標就寝時間までに寝る児童80%以上 ○朝食をとる児童90%以上 ○1日3回歯磨きをする児童80%以上	・9月と1月に「はなまるすこやかチェック」を実施し、1週間、就寝時刻、朝ごはん、歯みがき、ゲームの時間等について振り返らせる。 ・実施前に保健指導を行い、目標を立てさせる。 ・保護者と連携し、生活の改善につなげる。						
	○運動習慣の改善と体力づくり	○週に3日以上出て遊んだり、スポーツをした児童が80%以上 ○外遊びのための具体的な方策を考えている児童が80%以上	・委員会活動でスポーツ大会を開催し、外遊びを推奨する。 ・持久走間や縄跳び週間など定期的に取り組む。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●時間外勤務時間の職員の1か月平均が45時間以下	・毎週金曜日を定時退勤推進日とし、掲示板に掲げたり、個別に声掛けをしたりする。 ・毎月、自分の勤務状況を把握し、各自でタイムマネジメントしていく。						
	○学校組織、教職員集団としての働きやすい雰囲気づくり	○一人で抱え込まず、気軽に情報交換や相談ができる職場だと思える職員80%以上	・情報を共有する場を設定する。(週に1回の連絡会) ・ストレスチェックを行い、各自の心の状態を把握する。 ・職員同士が気軽に話せる時間を設定する。(各学期に1回程度)						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標 (数値目標)							
○ICT活用教育	○一人一台の学習者用端末の学校内外での活用推進	○学習者用端末の有効な活用法を熟知している教師が80%以上 ○学習者用端末を活用して主体的に学習することができる児童80%以上	・校内研修で学習者用端末の活用法を提案する。 ・授業の中で学習者用端末の活用場面を仕組む。						
○図書館教育	○読書活動の充実	○年間読書100冊に達した児童が90%以上	・多読賞や読書マスターの表彰、「100冊達成の掲示」を継続する。 ・図書館イベントの開催や公共図書館との連携、学校の読書活動のお知らせを図書館便りで伝えることで、多くの本と出会う機会を作る。						
○安全教育	○危機対応力の育成	○「学校は防災や不審者侵入などの対策ができている。」と答えた保護者が80%以上	・年3回の避難訓練を実施し、職員・児童の危機対応力を高める。 ・月1回の安全点検を確実に遂行する。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	----------------------------